

# SNSの歴史について



SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）  
とは、インターネットを通じてコミュニケーション  
を行えるサービスです。

SNSっていういろいろあって全部覚えるのって大変？  
使ったことないSNSも仕事では覚えないとダメかな？  
そもそもSNSって今後どうなるの？



未来を知るには過去を理解しよう！

# SNS (黎明期)

会員制掲示板サービス「みゆきネット」が開設。

知る人ぞ知る SNS で、ごく先進的なユーザーだけが使っていたようです。  
1999年に、みゆきネットは終了

SNSの原型とも言われる「SixDegrees.com」サービス開始

SixDegrees.com（シックスディグリーズドットコム）は1997年から2000年まで存在したソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)。SNSの原型となったサービスの一つとされる

「2ちゃんねる(現:5ちゃんねる)」が開設される。

掲示板がインターネット上のコミュニケーションの場として活用されており、これが現在のSNSの礎を築く。2ちゃんねるは現在、「5ちゃんねる」に名前を変えています。運営者も、創業者であるひろゆき氏から、ロキ・テクノロジー社(Loki Technology, Inc.)に移譲されました。

1995年

1996年

1997年

1998年

1999年

日本語版Windows95発売(11月23日)

Windows 95搭載PCが発売したことをきっかけに、インターネットが個人にも急速に普及

Google法人化

1997年にGoogle検索登場(9月15日)

合同会社は初期の費用を抑えられ、設立のハードルが低い  
Googleは現在合同会社です。Googleの日本法人も、2001年の設立当初はグーグル株式会社でしたが、2016年に合同会社に組織変更しています。ルールを厳しく決めておくことで、株式会社よりもスムーズな経営ができることがあるのが合同会社を選ぶ理由と言われています。

# SNS(成長期)

2001年

「SixDegrees.com」の進化版「Friendster」がアメリカで登場

Friendster(フレンドスター)は、かつてマレーシア・クアラルンプールに本拠地を置いていたソーシャルゲームサイト。2002年に開設され、2015年にサービス終了した。

「GREE」「mixi」「Facebook」「Twitter」がスタート

掲示板よりもソーシャルなコミュニケーションが可能になりました。2004年に登場した「mixi」はその代表格であり、日本独自のSNSとしては最大級のブームを巻き起こしました。

アメリカで「YouTube」がサービス開始

このころから「Facebook」(2004年)や「YouTube」(2005年)、「Twitter」(2004年現:X)といった、現代のSNSにおいて中心的な存在となるサービスが続々と登場

2002年

NTTドコモが世界初の3Gサービス「FOMA」を開始(10月1日)

2004年

2000年代初頭から本格的にSNSが普及し始めました。  
それまでのインターネットは低速で、画像すらまともに表示できない。  
さらに、この時の料金システムは、ネットに接続した時間だけ課金されるというシステム。  
そこに「ブロードバンド」と呼ばれる、高速の定額制インターネット接続サービス「ADSL」が登場しWebサービスは、急速な進化を遂げます。

2000年代後半に入るとガラケー(ガラパゴスケータイ)が急速に普及したこと、さらにSNSの利用ユーザーは拡大します。総務省の発表では、2006年3月31日時点の日本のSNS利用者数は、716万人に達したとあり、これは前年度(2005年3月31日)の111万人の約6.5倍の数字でした。

国内最大のSNSであったmixiも、2008年にスマートフォンアプリをリリースしましたが、SNSとしては、機能を盛り込み過ぎて、スマートフォンでの操作性があまり良くなかったといわれており、結果として、徐々に衰退を始めていったのです。

スマートフォンに適応できなかったパソコン主体のSNSは、続々と閉鎖していきます。

2005年

2007年

Appleから「iPhone」が発売

携帯電話そのものの概念が大きく変わります。メモ帳や電卓といったツール群から、これまでの携帯ゲームよりはるかに高性能なゲーム、そしてSNSもアプリ化されていく

# SNS(発展期)

写真・動画共有ツールアメリカで『Instagram』がサービス開始

4Gを機に、「写真や動画によるコミュニケーション」を作り出し、今に至る人気SNSとなる。Meta(旧:Facebook, Inc)が買収後は同社が運営している。

メッセンジャーアプリ「LINE」サービス開始

シンプルでクローズドなコミュニケーションを実現する点を評価され、その後急速に普及する。

ショートビデオプラットフォームと呼ばれる「TikTok」サービス開始

TikTokは、もともと2016年9月に中国市場でリリースされた抖音の国際版である。TikTokは2017年に中国本土以外のほとんどの市場でiOSおよびAndroid向けに提供開始されたが、2018年8月に世界中で利用できるようになる。

## 急速な進化を遂げるSNSの世界

2022年1月時点で、世界中のSNSユーザーは46億2,000万人を突破したとあり、この数字は世界総人口の58.4%に相当します。

また、日本国内においてもSNSの利用者は年々増加しており、2022年末には8,270万人(普及率82%)に達したと言われています。

※1:デジタルポータル「グローバル概要レポート」

※2:ICT総研:「2022年度SNS利用動向に関する調査」

2010年

3.9G(4G)サービス開始

2011年

3月11日、東日本大震災

2016年

スマホの普及率、ガラケーを上回る

2019年

世界初となるスマホ対応5Gサービスが各国で提供開始

2020年

WHOが新型コロナウイルス感染症のパンデミックを宣言

そして現在、皆さんはどうだけの種類のSNSを利用し、どれだけの時間を利用していますか?

# まとめ

SNSは時代の流れや  
テクノロジーの発展と共にある

SNSっていろいろあって全部覚えるのって大変？

流行るものもあれば流行らないものもあります。まずは流行っているものにアンテナを張っておきましょう。

使ったことないSNSも仕事では覚えないとダメかな？

プライベートとお仕事は別。あくまでも仕事として興味を持って理解と知識を高めてみましょう。

そもそもSNSって今後どうなるの？

逆に言えば流行ったのはたったのここ十数年のお話です。これから十数年で衰退することも考えられるし、これから長い文化として継承されるかもしれません。ただそなれば時代の変化とテクノロジーの変化と共にあります。生活の一部と考えて楽しく向き合っていくことで価値と未来を確認していきましょう。

